

かなり主観の入った内容で、
ときどき根拠に欠けますのでご注意ください。
決して悪意はありません。



Österreich

Wien



siepte (2. 11. 2016)

オーストリア ウィーン在住 伊東宏修など

ある所で仕事をした時、そこで手伝ってもらったり教えてもらったりしたおじさんとの話。すごく親切なおじさんだったし、なんとなくこっちの意図が伝わってそうで困らなかったから、大丈夫そうなところはJa (Yes) って言いまくっていたら、「ドイツ語できるね。」みたいな大きな誤解を招いたようだったので、「実はわかってないことが多いけど、Ja っていうことあるんだよね。」的なことを言ったつもり。すると、「そりゃダメだ！そんなんじゃ困るだろ。ドイツ語もできるようにならんだろ。わからん時は、ちゃんとわからないと言っ

てわかるようにしろ。」とかって怒られたっぽい。親切なおじさんだったから、任せていたつもりだったけれど、『Nien(No)』とか『Ich weiß nicht. (分からない)』とかって言うよりも、分かったふりをしてごまかしている方がコミュニケーションとしてとっても失礼でした。その後は、『わからん』とはっきり言うようにしたら、いろいろな仕草も交えて一生懸命伝えてくれました。

お店に行って店員さんに商品の場所を聞いたら『Ich weiß nicht.』って言われることもあり、おもわずツッコミをいれたいくなることもたまにあります。コミュニケーションがうまく取れない暮らしの中での興味深い出来事でした。あれからというもの、わからないことを伝えることで広がるコミュニケーションも、案外多い感じがします。もちろん諦められたり、無視されることもあるけれど、仕方ないので笑って気にしないことにしています。

と、思ったけれど、その時たまたま仕事で困ることはなかっただけで、誰かが訳してくれたわけでもないの、おじさんの言っていたことと私の思っていることが果たしてその通りだったかは不明です。でも、その時に感じた『人と人のつながり方』は確かだと思います。

ってことは、もしかしたら店員さんも、わからないのは『商品の場所』ではなく『私が何を言っているのか』だったのかもしれない。

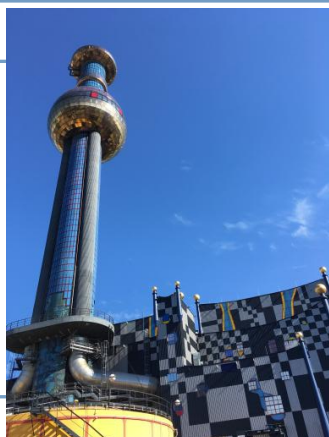
Antwort

近くのスーパーでも、醤油、わさび、豆腐(ちょっと感じが違うけど…)、小豆などを見かけることが。この前は、一升瓶のポン酢を見かけました。現地産のもやし、しいたけなどもあるけれどかなり高い(我が家的に)。その他、ウィーンはいわゆる日本食材を扱う店がけっこう(感じ方は人による)あり。アジア食材(中華系や韓国系)を扱う店にもあり、お菓子やインスタント麺などをみることも。ただ、ヨーロッパ外で作られて輸入される食品は関税もあって高価。前回の正解は€2.5(およそ 300 円)。

Frage

フンダート・ヴァッサー
Hundertwasser
という人がデザインしたある建物。
なんの施設？

正解は
次回。



Deutsch

Österreichisches

定冠詞というのがドイツ語にはあります。名詞(物の名前など)はder(男性)・die(女性)・das(中性)に分類され、それぞれに応じて日本語で言う『それ』の言い方などが変わります。定冠詞に規則性はほぼなく、理由も不明な場合が多い。例えば、スプーンはder Löffel, フォークはdie Gabel, ナイフはdas Messer。月はder Monat。年はdas Jahr。週はdie Woche。